

科目名 (英)	人間関係心理学 Interpersonal Psychology	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	(通年科目)前期
【授業の学習内容】 社会生活を営むに当たって必要な一般的常識からマナーについて学習する。グループワーク等を通じてより良い人間関係構築のための交流、協力、連携、心を通わす、他者とのコミュニケーションについて学習する。 特に前半15回では、人間関係の構築に必要な基礎的な知識を習得して実際に体験することから、自分の現状を知ることを目指す。 寺井 実務経験 大学、医療系専門学校にて教鞭をとる。 資 格 博士(臨床教育学)、学校心理士							
【到達目標】 ①グループワーク、レクリエーションが及ぼす対人関係の効果について理解し、より良い人関係構築を目指す意識と行動を実践できる。 ②クラス運営や就職先などの集団でのより良い人間関係構築が実践できる。 ③対人(個人)とのより良い人間関係構築に必要な行動観察技法や観察による情報の取得ができる。							

授業計画・内容	
1回目	ガイダンス コミュニケーションとは コミュニケーションの基本的な考え方について説明することができる。
2回目	基本的対話スキル① 会話のプロセス(4段階)を理解し、1対1の会話を行うことができる。
3回目	基本的対話スキル② グループの存在目的や役割について理解し、グループでの会話を行うことができる。
4回目	基本的対話のまとめ 話す・聴くに必要なスキルについて理解することができる。
5回目	自己表現スキル① 自己表現の必要性について理解することができる。自己表現と人間関係、人間関係を円滑にするための基本と方法について理解することができる。
6回目	自己表現スキル② 仕事の上で必要とされる表現技術や人間関係、仕事を円滑にするための表現手段について理解することができる。
7回目	自己表現スキル③ アンガーマネジメントについて理解することができる。適切な怒りの表現について理解することができる。
8回目	自己表現(伝える力)のまとめ 自分らしく相手にとって好ましい自己表現スキルについて理解することができる。
9回目	社会的スキル① 基本的なスキル(マナー、挨拶、敬語)について理解し、行動に反映することができる。
10回目	社会的スキル② 基本的なスキル(電話応答、接遇時の心得、訪問時における心得等)を理解し、行動に反映することができる。
11回目	社会的スキル③ 文書作成 社内文書と社外文書について理解することができる。ビジネスメールのマナーを理解することができる。
12回目	社会的スキルのまとめ 職業人に必要な基本的なマナーを教養として身につけることができる。
13回目	サービスの基本要素 サービスの基本要素「人・環境・プロセス」について理解し、サービスマインドについて説明することができる。
14回目	まとめと確認 1～13コマで学習した用語について説明することができる。
15回目	まとめと確認 学習で得たスキルを実際の生活に応用する方法を考えることができる。
準備学習 時間外学習	事前準備 授業開始前に教科書該当する項目を熟読すること 授業や授業外で会話をするときは相手を見て話す、聴くことに心がけ多くの人と積極的に会話をする
評価方法	成績の評価は、『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 コミュニケーションスキルアップ検定 滋慶教育科学研究所監修	

科目名 (英)	人間関係心理学 Interpersonal Psychology	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	寺井 朋子
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	(通年科目)後期
【授業の学習内容】 社会生活を営むに当たって必要な一般的常識からマナーについて学習する。グループワーク等を通じてより良い人間関係構築のための交流、協力、連携、心を通わす、他者とのコミュニケーションについて学習する。 特に後半15回では、グループワークや演習を通じて人間関係の構築に必要なスキルを活用することを目指す。グループワークは主に「記憶と学習」「質問紙法」で行う。「記憶と学習」では、今後の学習へ活用することも目指すため、鍼灸に関する用語を用いることとする。 寺井 実務経験 大学、医療系専門学校にて教鞭をとる。 資 格 博士(臨床教育学)、学校心理士							
【到達目標】 ①グループワーク、レクリエーションが及ぼす対人関係の効果について理解し、より良い人関係構築を目指す意識と行動を実践できる。 ②クラス運営や就職先などの集団でのより良い人間関係構築が実践できる。 ③対人(個人)とのより良い人間関係構築に必要な行動観察技法や観察による情報の取得ができる。							

授業計画・内容	
16回目	オリエンテーション 心理学とは何か 科学としての心理学について理解することができる。
17回目	記憶と学習① 記憶の種類と学習曲線について理解することができる。
18回目	記憶と学習② 自分に合った覚え方を考えることができる。
19回目	記憶と学習③ 自分に合った覚え方を実践することができる。
20回目	記憶と学習④ 学習に対する工夫(覚え方)について各自、発表をすることができる。
21回目	質問紙法① さまざまな研究法 量的データと質的データ、信頼性と妥当性について理解することができる。
22回目	質問紙法② アンケート作り データ収集の方法と項目作成の基礎について理解することができる。
23回目	質問紙法③ アンケート作りを行う 信頼性と妥当性について理解することができる。
24回目	質問紙法④ アンケート作成 結果のまとめ方について理解することができる。
25回目	質問紙法⑤ 発表 グループワークで作成したアンケートの結果をまとめ、発表することができる。
26回目	自己分析① 性格とは何か 性格について理解することができる。
27回目	自己分析② 自己意識と行動 自己意識と行動について理解することができる。
28回目	自己分析③ 自己効力感と動機づけ 自己効力感と動機づけについて理解することができる。
29回目	自己分析④ 原因帰属 原因帰属について理解することができる。
30回目	まとめ 学習した内容を実際の生活に応用する方法を考えることができる。
準備学習 時間外学習	オリエンテーション時に説明
評価方法	成績の評価は、『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験、提出課題、プレゼンテーションの評価などが含まれる。
受講生へのメッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし。授業中にプリントを配布します。	